



令和元年 7月31日 発行  
社会福祉法人 青梅みどり福祉会  
かすみ保育園

暑い季節になりました。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。また、夏休みに遠出される方も多いと思います。体調やけがに気を付けながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう

### 「夏かぜ」

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- ・ 高熱が出る
- ・ 目の充血、痛みがある
- ・ のどが赤くはれ痛みが
- ・ 体に発疹が出る



これらの特徴があり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう

## 8月の予定

6日（火）身体測定

7日（水）乳児検診



### 「室内の温度調整」

室内にいても熱中症になることがあります。クーラーをじょうずに使って温度調整をしましょう。扇風機も一緒に回すと、空気が循環して、室内の温度が一定に保たれます。また、お昼寝の際には、室内でも日陰になる場所を選び、クーラーや扇風機の風が子どもの体に直接当たらないように、工夫しましょう。設定温度は、27～28℃が最適と言われています。また乳児のお昼寝の場合は、時々手足を触るなどして、冷えすぎていないかどうかをチェックしましょう。

### 虫による皮膚トラブルに注意



蚊に刺された場合は、刺された部位を水道水でよく洗い流し、濡らしたタオルなどで冷やして、虫刺され薬を塗ります。ハチ・アブ・ドクガの場合は、毒毛や毒針を毛抜きや粘着テープなどで抜き取り、水道水で洗い流し、濡らしたタオルで冷やしながらか病院へ受診してください。

### 7月の報告

乳幼児クラスより、手足口病・ヘルパンギーナの発症がありました。これらの病気は症状回復後、便の中にウイルスが排出されています。【登園後7日間はシャワー対応になります】